

第 I 期 (1900~1934)

年代	事項	国内・函館トピックス
1899年 明治32年	10月1日 区制(自治制)実施。	
1900年 明治33年	2月5日 仲山興七、上田大法、寺井四郎兵衛の三氏は、相協力して寄るべなき老幼病者を救助するため、函館慈恵院創立の計画を立て準備に当たる。	
	3月6日 函館区相生町39番地(現宝来町14番9号)に家屋を賃貸して、老弱者3人を収容救護し、事業の第一歩を踏み出す。(この日が函館厚生院創立記念日となる)	
	4月10日 仲山興七、上田大法、寺井四郎兵衛の三氏が発起人となり、函館慈恵院(後に函館厚生院と改称)の設立主意書及び予算書を起草。	
	5月26日 函館慈恵院創立総会を開催。	
	6月6日 寺井四郎兵衛の土地の寄付(東川町274番地、現千歳町22番で約1,428坪)により建設地決定。	
	7月12日 函館慈恵院院舎建築着工。	
	11月11日 函館慈恵院院舎(205坪)竣工、開院式を開催。	
	12月 同年末までの入所者・養育児11名、院内扶助者10名、自宅扶養者4名の計25名。職員は2名。	
1905年 明治38年	12月28日 育児部からの出火により本院院舎全焼(第1回火災)	
1907年 明治40年	5月22日 本院再建のため北海道庁と宮内省から初めての補助金の交付を受ける。	
		8月25日 函館大火(東川町から出火、12,390戸消失)
1908年 明治41年	7月25日 函館慈恵院院舎(面積350坪、工事費1万2千余円)竣工し、事業を開始。	
1911年 明治44年	8月29日 失火により本院全焼(第2回火災)、これにより施療を中止。	
1912年 大正元年	11月20日 洋風二階建の本院院舎完成。	
1913年 大正2年		5月4日 函館大火(若松町から出火1,532戸消失)
1916年 大正5年		8月2日 函館大火(旭町から出火1,763戸消失)
	11月9日 育児及び養老部の移転予定地として、函館大字亀田村字五稜郭通26、27番地(現五稜郭病院敷地)畑地14,811坪余を購入。	
1917年 大正6年	7月3日 函館地区大森町高森3番地(現宇賀浦町10番11号)に夜間の函館慈恵院附属大森小学校を開設し、特殊義務教育を始める。(6月30日認可、校舎35坪)(昼間は地域住民のために衛生講話会、仏教講話会など公民館的役割を課した。)	
1920年 大正9年	3月1日 本院が、褒章条例内規第2条に該当する公益法人として許可。	

年代	事項	国内・函館トピックス
1922年 大正11年	10月1日 大森地区に第一保育所開設。	
	11月1日 大森地区に第二保育所開設。	
1924年 大正13年	7月27日 函館慈恵院創立者の一人であった仲山與七、海難事故により逝去。	
1927年 昭和2年	4月10日 大森尋常小学校を廃校決議(市立小学校開校のため)。	
	7月28日 大森尋常小学校跡地に、大森病院起工。	
	10月30日 大森尋常小学校廃校。在学児童は市立大森尋常小学校に転校。(10年間に入学者434名、卒業生130名)	
	11月4日 大森病院竣工。10室85床。(後の五稜郭病院)	
1930年 昭和5年	6月1日 実費診療所改築工事竣工。名称を中央病院と改め、診療を開始。(5室、24床)病院長高橋六郎。 これが中央病院の発足で、この日が中央病院開院記念日となる。	
1932年 昭和7年	10月24日 本院養育部(育児及び養老)が救護施設として、北海道庁長官から許可。	
1933年 昭和8年	12月26日 養育部が児童虐待防止法による被虐待児童委託施設として、北海道庁長官から指定を受ける。	
1934年 昭和9年	3月21日 函館大火。函館慈恵院も五稜郭町の養育部を除き、本院及び中央病院、大森保養院、第一保育園、第二保育園のすべてが消失(第3回火災)	

第Ⅱ期（1935～1945）

年代	事項	国内・函館トピックス
1935年 昭和10年	2月8日 本院事務所、函館市本町11番地に移転。	
1900年 明治33年	12月21日 養育部を五稜郭分院と改称。育児施設を玉成寮、養老施設を豊寿寮、救護施設を慈雨寮と改称する。	
1936年 昭和11年	1月13日 社団法人函館慈恵院附属中央病院の開設。北海道庁長官から許可。 10月1日 本院及び中央病院(808坪、本院事務室3室、病室19室、病床70床)並びに乳児院(169坪)及び看護婦寄宿舍竣工。	
1937年 昭和12年	3月6日 地久節に際し、皇后陛下から収容中の乳幼児に対し栄養品料下賜。	
1938年 昭和13年	8月24日 将来の事業予定地として、勝木昭松から湯川町上野高台の土地(現高丘町3番、山林5,848坪)及び建物127.66坪他を購入。また同氏から土地(山林5,848坪、公衆用道路906坪及び160坪)の寄付を受ける。	
1939年 昭和14年	2月21日 函館慈恵院創立者の一人であった寺井四郎兵衛逝去。	
1941年 昭和16年		12月8日 太平洋戦争始まる。
1942年 昭和17年	7月1日 函館慈恵院機関誌「共存」廃刊。(明治33年12月「函館慈恵院月報」として創刊、昭和3年「共存」と名称を変更)	
1945年 昭和20年	4月1日 看護婦講習所開所式並びに第1回入所式。(第1回生22名)	8月15日 太平洋戦争終結。

第Ⅲ期（1946～1969）

年代	事項	国内・函館トピックス
1946年 昭和21年	5月26日 「函館慈恵院」を「函館厚生院」と改称し、理事7名を9名に、監事5名を3名にすることを決議。	
	6月7日 函館慈恵院創立者の一人であった相談役上田大法、逝去。	
	12月10日 本院機構（総務部、医療部、保護部）を、本部、中央病院、五稜郭分院及び湯川分院と改める。	
1947年 昭和22年	2月12日 本院創立記念日を6月6日とする。	
	3月25日 看護婦講習所第1回卒業式。（卒業生23名）	
1948年 昭和23年	1月1日 五稜郭分院の育児施設が、児童福祉法による児童福祉施設として許可。	
	8月10日 本部及び中央病院増築工事竣工。	
1950年 昭和25年	10月5日 函館厚生院創立50周年記念式を共愛会館において開催。この50周年を記念して「函館厚生院50年史」を発行。	
	11月30日 厚生大臣から、従来の看護婦講習所が乙種看護婦講習所に指定。名称は函館厚生乙種看護婦講習所、2年課程、定員20名。	
1951年 昭和26年	8月31日 五稜郭病院が、生活保護法により医療保護施設として北海道知事から許可。	
	9月30日 五稜郭病院増築工事竣工。	
1952年 昭和27年	2月1日 本院経営の各施設名を、次のように改称。 函館中央病院、函館五稜郭病院、函館厚生育児院（現くるみ学園）、函館厚生養老院、函館厚生看護学院。	
	5月17日 厚生大臣から、社会福祉事業法に基づき社会福祉法人として新定款許可。	
	5月31日 五稜郭病院が医療保護施設に、養老院が生活保護施設として許可。中央病院が社会福祉事業法による社会福祉事業開始届を北海道知事に提出。	
		11月1日 中央病院前に電車停留所が設置される。
1953年 昭和28年	2月26日 看護学院が保健婦助産婦看護婦法による准看護婦養成所として指定。校名、函館厚生院准看護婦学院。	
	7月28日 五稜郭病院増築工事竣工。	
	10月20日 養老院施設拡張のため、榎本町125番地（現湯川町3丁目29番地）宅地3,019坪等を購入。	

年代	事項	国内・函館トピックス
1954年 昭和29年		9月26日 台風15号により洞爺丸ほか4隻の 青函連絡船が沈没。多数の死傷者 を出し乗客・乗組員の遭難者が、中 央病院をはじめ各病院に搬送され
1956年 昭和31年	4月18日 函館厚生養老院榎本分院の設置、経営開始。 5月10日 北海道知事から、厚生養老院榎本分院が生活保護法による養老施設として許可。	
1958年 昭和33年		7月1日 函館開港100年記念式開催。 8月20日 函館空港完成。
1960年 昭和35年	9月6日 函館厚生院創立60周年記念式を開催。「函館厚生院60年史」発行。 10月8日 函館厚生育児院を、函館厚生院くるみ学園と改称。	
1962年 昭和37年	9月1日 函館厚生院高等看護学院開校。(2年課程進学コース定時制:修業年限3年として全 国最初。各学年定員30名)	
1963年 昭和38年	10月1日 施設の名称を次のように改める。 「育児院」を「くるみ学園」に、「養老院榎本分院」を「永楽荘」に、「養老院」を「高丘 寮」に改める。	
1964年 昭和39年	3月11日 北海道知事から、生活保護法の規定による救護施設として、高丘寮開設許可。 4月21日 救護施設高丘寮開設	
1965年 昭和40年	1月26日 五稜郭病院が総合病院と称すること北海道知事から承認。 8月27日 中央病院が総合病院と称すること北海道知事から承認。 12月20日 函館厚生高等看護学校、各種学校として設置認可。	
1966年 昭和41年	12月1日 五稜郭病院本館竣工。	12月1日 銭亀沢村、函館市と合併。
1968年 昭和43年		5月16日 十勝沖地震。
1969年 昭和44年	10月1日 中央病院胃ガン検診車による巡回検診事業を開始。(区域は函館市内、渡島・檜山 支庁管内)	

第 期 (1970 ~ 2000)

年代	事項	国内・函館トピックス
1970年 昭和45年	9月11日 函館厚生院創立70周年記念式、五島軒本店において開催。	
1971年 昭和46年		7月3日 東亜国内航空「ばんだい号」が函館北方横津岳で遭難墜落、68名全員死亡。中央病院から倉上病院長及び看護婦2名を派遣。
1973年 昭和48年	7月14日 中央病院未熟児センター開設。	
		12月1日 亀田市、函館市と合併。
1974年 昭和49年	12月4日 函館市立高丘小学校用地として、高丘寮敷地42,178㎡のうち16,529㎡を函館市に売却。	
1978年 昭和53年	11月15日 函館厚生高等看護学院新築工事竣工。	
1979年 昭和54年	3月31日 函館厚生准看護婦学校、閉校。昭和28年開校以来の卒業生総数430名。	
	4月1日 「函館厚生高等看護学校」を「函館厚生院高等看護学校」と改称。新設を看護第一科、従来の夜間を看護第二科とする。	
	8月16日 中央病院の将来計画を考慮して、本町10番22及び52宅地782.44㎡を購入決定。	
	10月10日 中央病院に北海道で初めてのバイブレーション心血管連続撮影装置設置。	
1980年 昭和55年	3月31日 くろみ学園用地(五稜郭町54番地、4,599.77㎡)を、北海道五稜郭養護学校敷地として、北海道に売	
	7月8日 くろみ学園新築用地として、亀田中野町38番地11の土地(9,998㎡余)を購入。	
	10月18日 函館厚生院創立80周年記念式、高等看護学院講堂において開催。	
	11月5日 函館厚生院高等看護学校の専修学校切替の許可を受け、函館厚生院看護専門学校と改称。	
1981年 昭和56年	9月10日 くろみ学園新築移転工事第2期工事(体育館)竣工。全工事終了。総面積3,529.59㎡。	
1984年 昭和59年	6月25日 理事会、看護専門学校第二科の学生募集を昭和60年度から中止することに決定。	
1985年 昭和60年	9月4日 函館厚生院、北海道開発功労賞を受賞。	
1987年 昭和62年	3月12日 看護専門学校看護第二科最後の卒業式、卒業生20名。昭和37年9月開設以来の卒業生総数505名。	
	4月1日 看護第二科閉科いより、看護第一科を看護科とする。	
1988年 昭和63年		3月13日 青函トンネル・津軽海峡線開業。青函連絡船、80年の歴史に幕を閉じる。
1989年 平成元年	2月9日 五稜郭病院中央棟竣工。	
	12月19日 理事会、函館厚生院創立100周年記念事業準備委員会を設置。	
1990年 平成2年	8月30日 理事会、特別養護老人ホーム「函館百楽園」設置を決定。	
	12月12日 函館中央病院創立60周年・第5期新棟落成記念式を法華クラブにおいて開催。	

年代	事項	国内・函館トピックス
1991年 平成3年	7月1日 函館百楽園新築工事着工。	
	9月6日 天津医学院(中国)と五稜郭病院との間で、学術交流を含めた協議書調印。	
1992年 平成4年	2月29日 函館百楽園新築工事竣工。(延面積2,386㎡)	
	4月1日 函館百楽園開園。定員50名、ショートステイ10名、デイサービスセンターB型。	
1993年 平成5年	4月1日 五稜郭病院内に老人介護支援センターに「ごりょうかく」を開設。	
		7月12日 北海道南西沖地震。中央病院の被害約117万円。
1994年 平成6年	5月27日 中央病院と森町立国保病院との間で、画像伝送診断システムを導入し、稼動を始める。	
	7月1日 函館百楽園、デイサービスセンターA型(通所事業、訪問事業(入浴サービス・給食サービス))へ移	
	8月1日 老人保健施設「ケンゆのかわ」開設。入所150床、通所20名。	
	10月1日 中央病院内に老人介護支援センター「ちゅうおう」を開設。	
	11月7日 中央病院と恵山町立国保病院と画像伝送支援システムを結ぶ。	
1996年 平成8年	3月25日 高丘寮新築(全面改装)工事平成7年度分竣工。	
	5月31日 百楽園2階食堂兼デイルーム増築工事竣工。総面積2,525.04㎡となる。	
	9月24日 五稜郭病院と道立江差病院と画像診断支援システムを結ぶ。	
	10月31日 高丘寮新築工事平成8年度分竣工。これにより高丘寮の全面改装工事が完成し、鉄筋コンクリート造3階建、総面積3,575.75㎡となる。	
	11月1日 函館市老人福祉委託事業「デイサービスセンター花園・老人介護支援センター花園・ホームヘルプステーション花園・シルバーハウジング生活援助事業」を厚生院が受諾し、運営開始。(当初中央病院が担当したが、平成13年から厚生院本部に移管)	
1997年 平成9年	4月24日 理事会、「函館中央病院第6期増改築計画」を決定。	
	5月29日 中央病院立体駐車場(144台収容)竣工。	
	10月2日 函館厚生院100年史編集委員会発足。編集委員長関輝夫。	
1998年 平成10年	11月1日 函館厚生院100周年記念事業委員会発足。委員長村井英夫理事長。	
	11月27日 函館中央病院70年史編集委員会発足。編集委員長山田豊副委員長。	
1999年 平成11年	2月1日 函館五稜郭病院50年史編集委員会発足。編集委員長遠藤満智子診療部長。	
	4月1日 「精神薄弱者福祉法」が「知的障害者福祉法」と改める。	
2000年 平成12年	1月13日 函館厚生院シンボルマーク制定。	
	3月4日 函館厚生院フェスティバル、函館市芸術ホールにおいて開催。	
	3月5日 函館厚生院創立100周年、函館中央病院創立70周年、函館五稜郭病院創立50周年を、国際ホテルにおいて開催。	

第 期 (2000年4月～2005年3月)

年代	事項	国内・函館トピックス
2000年 平成12年	4月1日 函館百楽園増改築工事着工	
	6月30日 ケンゆのかわ 施設長 高階 美恵子 退任 7月1日 同 同 高田 徹 就任	
	10月13日 函館百楽園増改築工事竣工	
	12月5日 高丘町28号線歩道造成工事のため、高丘町所在の土地25,640.74㎡のうち、120.63㎡を函館市に譲渡。	
	3月31日 看護専門学校 学校長 高田 竹人 退任 本部事務局 事務局長 向井 清治 退任 4月1日 看護専門学校 学校長 杉目 嘉男 就任 本部事務局 事務局長 古川 裕一 就任	
2001年 平成13年	4月26日 函館五稜郭病院 オーダリングシステム導入決定。	
	11月21日 国立療養所北海道第一病院(現ななえ新病院)の経営権取得を前提とした協議開始。	
	12月6日 函館中央病院 SPD委託開始	
	3月1日 保健婦助産婦看護婦法の改正により、保健婦を保健師、助産婦を助産師、看護婦(士)を看護師、准看護婦(士)を准看護師と改正した。	
2002年 平成14年	3月31日 函館百楽園 園長 近江谷 みつ子 退任 函館百楽園 園長 田中 恵市 就任 永楽荘 荘長 藤浪 克則 退任	
	4月1日 函館厚生院 統括マネジャー 近江谷 みつ子 就任 永楽荘 荘長 三浦 稔 就任	
	4月1日 児童家庭支援センターくるみの設置。	
	6月27日 函館五稜郭病院増改築工事の協議開始。	
	8月1日 国立療養所北海道第一病院(現ななえ新病院)の移譲に係り、48床が介護療養型医療施設の認可を受ける。	
	8月31日 函館中央病院 病院長 山根 繁 退任 9月1日 同 同 橋本 友幸 就任	
	10月1日 函館中央病院 副病院長 佐々木 春喜 就任 函館中央病院 副病院長 児嶋 哲文 就任	
	12月1日 函館厚生院100年史、函館中央病院70年史、函館五稜郭病院50年史刊行。	
	3月24日 函館五稜郭病院増改築工事の指名競争入札実施。	
	3月25日 函館五稜郭病院増改築工事に伴う北棟・東棟建物8,605.8959㎡の解体処分承認。	
2003年 平成15年	3月25日 函館五稜郭病院の患者専用駐車場確保のため、五稜郭町の宅地926.23㎡を取得。	
	3月31日 看護専門学校 学校長 杉目 嘉男 退任 4月1日 同 同 関川 節子 就任	
	4月1日 ヘルパーステーション花園で身体障害者居宅介護事業(ホームヘルプサービス)を開始。	

年代	事項	国内・函館トピックス
2003年 平成15年	4月1日 子育て短期支援事業所くるみの設置。	
	4月20日 豊寿荘でストーブ裏、壁内部に設置されていた水道管凍結防止用電線の劣化により、ポヤが発生。これにより、老朽化による施設整備の必要性が緊急な課題となった。	
	4月22日 国立療養所北海道第一病院の移譲に係り、国から無料又は低額診療施設としての開設許可。	
	5月1日 函館五稜郭病院増改築工事の着工。	
	5月28日 国立療養所北海道第一病院の移譲に係り、病院名を「ななえ新病院」と決定。	
	6月1日 ケンゆのかわが函館五稜郭病院長管理下から、厚生院本部管理下による運営体制となる。	
	6月19日 函館厚生院理事定数を9名から11名に、評議員定数を21名から23名に変更。	
	6月20日 国と国立療養所北海道第一病院の経営移譲に関する基本協定を締	
	6月30日 函館厚生院 理事長 村井 英夫 退任 7月1日 函館厚生院 理事長 金井 卓也 就任 ななえ新病院 病院長 村井 英夫 就任	
	7月1日 ななえ新病院開設。 開設に伴い、土地139,863.11㎡、建物19,779.12㎡を財産へ編入。	
12月22日 ななえ新病院開設事業として、七飯町から補助金の交付を受ける。医療施設近代化施設整備事業補助金(助成事業)申請の意向を北海道に通知。これにより、老朽化した建物の改築協議が開始。		
2004年 平成16年	3月31日 ケンゆのかわ 施設長 高田 徹 退任 4月1日 同 同 藤井 成彬 就任	
	4月1日 函館中央病院が北海道から小児救急医療拠点病院の指定を受け	
	4月1日 ななえ新病院 副病院長 高田 徹 就任 同 事務部長 古川 裕一(本部事務局長兼務)	
	4月23日 ななえ新病院の医療施設近代化施設整備事業補助金(助成事業)による改築、豊寿荘の移転新築のための設計プロポーザルを開催。	
	9月1日 函館五稜郭病院の病床数が586床、ななえ新病院の病床数が249床となる。	
	9月1日 函館中央病院 オーダリングシステムの導入決定。	
	9月1日 道路拡張工事に伴い、ケンゆのかわ土地の一部425.21㎡を函館市に売却。	
	9月29日 函館五稜郭病院の患者専用駐車場確保のため、五稜郭町の521.02㎡を国有財産一般競争入札により取得。	
	12月31日 永楽荘 荘長 三浦 稔 退任	

年代	事項	国内・函館トピックス
2005年 平成17年	1月1日 永楽荘 荘長 石津 俊之 就任 本部事務局 顧問 三浦 稔 就任	
	3月31日 高丘寮 寮長 白石 一朗 退任	

第 期 (2005年4月～2006年3月)

年代	事項	国内・函館トピックス
	<p>4月1日 高丘寮 寮長川島 明 就任 豊寿荘 荘長 佐藤 章二 就任 くるみ学園の定員数を120名から110名に変更。</p>	
	<p>5月2日 平成17年4月1日から「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律」の施行に伴い、函館厚生院職員就業規則及び契約職員就業規則の一部を改正した。 シンチレーションカメラ一式を導入することに決定した。(函館五稜郭病院) 注射薬自動払い出し装置一式を導入することに決定した。(函館五稜郭病院) 第2期オーダーリングシステムの初期投資分として注射オーダーシステムを導入することに決定した。(函館五稜郭病院) ななえ新病院・豊寿荘(仮称)新築工事の入札指名業者を選定した。</p>	
	<p>5月20日 ななえ新病院・豊寿荘(仮称)新築工事の指名競争入札実施。</p>	
<p>2005年 平成17年</p>	<p>5月26日 ななえ新病院・豊寿荘(仮称)新築工事に伴うななえ新病院建物の一部並びに豊寿荘建物(全部)の解体処分承認。 平成17年5月31日付けで任期満了となる現理事10名を再任し、1名を新任 平成17年5月31日付けで任期満了となる現監事3名を再任 平成17年5月31日付けで任期満了となる現評議員を21名を再任し、2名を新任 ななえ新病院院長 村井 英夫が退任 ななえ新病院院長に川村 詔導を任命 平成16年度全会計の決算および事業報告を承認した。 平成17年5月20日、ななえ新病院・豊寿荘(仮称)新築工事の入札を実施し、最低価格業者の清水建設(株)と工事請負契約を締結することに決定した。 ななえ新病院・豊寿荘(仮称)の設計監理業務委託契約を(株)日本設計と締結することに決定した。</p>	
	<p>5月31日 ななえ新病院 病院長 村井 英夫 退任</p>	
	<p>6月1日 ななえ新病院 病院長 川村 詔導 就任 函館厚生院 常務理事 古川 裕一 就任 ななえ新病院・豊寿荘(仮称)新築工事の着工 ななえ新病院新築工事に係る既存施設解体撤去工事に着工した。</p>	
	<p>6月2日 函館五稜郭病院北棟・東棟増改築工事が完成し引渡を受けた。</p>	
	<p>6月7日 日本自転車振興会から平成17年度自転車事故に関わる診断機器整備補助事業の補助金交付決定通知を受け、事業を実施、平成18年3月3日事業が完了した。 ななえ新病院～X線テレビ装置一式</p>	
	<p>6月27日 ななえ新病院・ケアハウス豊寿新築工事に伴う基本財産の処分について、平成17年6月27日付で北海道知事から承認された。</p>	
	<p>6月29日 PET-CTならびにMRI一式を導入することに決定した。(函館五稜郭病院) サイクロトンシステム一式を導入することに決定した。(函館五稜郭病院)</p>	
	<p>7月1日 ななえ新病院新築建設工事の一部設計変更により工事請負契約金額を減額変更し、再契約した。</p>	

年代	事項	国内・函館トピックス
2005年 平成17年	7月23日 豊寿荘(仮称)新築工事の工事請負契約を締結し、同日新築工事を着工した。	
	7月28日 病院名誉院長に関する規則について、「ななえ新病院」を追加等の一部改正をした。 ななえ新病院前院長 村井 英夫、函館中央病院元院長 藤井 正三、函館中央病院前院長山根 繁に対し、各病院名誉院長の称号を付与した。	
	8月1日 ななえ新病院 名誉院長 村井 英夫(前ななえ新病院院長) 授与 函館中央病院 名誉院長 藤井 正三(元函館中央病院院長) 授与 函館中央病院 名誉院長 山根 繁(前函館中央病院院長) 授与	
	8月31日 函館市から平成17年度函館市社会福祉施設整備事業補助金交付決定通知を受け、事業を実施、平成17年11月30日事業が完了した。 豊寿荘～テレビ他娯楽設備一式購入設置事業	
	9月15日 寒冷地手当支給基準の変更に伴う職員給与規程及び契約職員給与規程の一部を改正	
	10月13日 財団法人中央競馬馬主社会福祉財団から平成17年度社会福祉施設等助成金の交付決定通知を受け、事業を実施、平成18年3月2日事業が完了した。	
	10月27日 平成17年度本部・施設・看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認した。	11月 姉齒建築設計事務所の耐震偽装問題発覚。
2006年 平成18年	12月9日 本部事務局顧問 三浦 稔を総合施設長に任命 MRI一式を導入することに決定した。(ななえ新病院) 函館市の公募による函館市地域包括支援センターの運営法人として応募し、平成17年12月22日付で函館市から当該センターの運営法人として選定通知があった。	
	1月30日 平成18年1月1日、地域小規模児童養護施設いちいを開設した。 函館中央病院副院長 佐々木 春喜が退任 函館中央病院診療部長 筒井 理裕が退任 函館中央病院副院長に藤田 信行を任命 函館中央病院診療部長に阿部 雅一、渡邊 豊、重信 恵一、加藤 功を任命	
	2月27日 改正高年齢者雇用安定法の平成18年4月施行に伴い、函館厚生院再雇用職員就業規則の制定と函館厚生院職員就業規則の一部を改正した。 豊寿荘(仮称)新築移転に伴う初度備品を平成18年2月13日に、入札により電化製品、ベッド、特別浴槽、適温配膳車、家具類、事務備品類は見積合せにより購入することに決定した。 ななえ新病院及び豊寿荘(仮称)新築工事の一部設計変更により工事請負契約金額が減額変更となり、平成18年2月20日に変更契約した。 函館市における公開空地整備の第一号案件の記念品として、函館五稜郭病院公開空地内にブロンズ彫刻を購入設置することとした。	2月 トリノ大会で荒川静香が日本フィギュア界初の金メダルを獲得。
3月25日 ななえ新病院・豊寿荘(仮称)新築工事が完成した。		

年代	事項	国内・函館トピックス
2006年 平成18年	<p>3月29日 函館五稜郭病院診療部長に鈴木 勝雄を任命 ケンゆのかわ施設長 藤井 成彬が退任 ケンゆのかわ施設長に後藤 嘩を任命 本部事務局次長に堀田 保を任命 函館百楽園園長に本間 茂司を任命 デイサービスセンター花園施設長に田中 恵市を任命 デイサービスセンター谷地頭施設長に鍵主 和樹を任命 函館市地域包括支援センター-厚生院センター長に松野 陽を任命 函館市から緊急設置要請のあった第2種社会福祉事業である助産施設(函館中央病院、函館五稜郭病院)の設置に係る目的事業追加の定款変更認可申請書を平成18年3月22日に北海道知事へ提出し、平成18年3月28日付で認可された。 平成17年度本部・施設・看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認した。 平成18年度全会計収支予算を承認した。 老人介護支援センター(ごりょうかく、ちゅうおう、ケンゆのかわ、花園、谷地頭、函館百楽園)を平成18年3月31日付をもって廃止することとした。 軽費老人ホーム(A型)豊寿荘を平成18年4月1日付で軽費老人ホームケアハウスに変更するとともに、施設名をケアハウス豊寿に変更することとした。</p>	

第 期 (2006年4月～2007年3月)

年代	事項	国内・函館トピックス
	<p>3月29日 軽費老人ホーム豊寿荘の名称変更、老人介護支援センター事業の廃止、地域包括支援センターの受託経営に伴う定款変更認可申請書を平成18年5月10日に北海道知事へ提出し、平成18年5月30日付認可された。</p>	
	<p>4月27日 ななえ新病院看護部長に函館中央病院副看護部長 小林 恵子を任命</p>	
	<p>5月29日 定款準則の改正ならびに障害者自立支援法施行に伴う第2種社会福祉事業の身体障害者居宅介護等事業の名称変更(障害福祉サービス事業)による定款変更認可申請書を平成18年7月7日に北海道知事へ提出し、平成18年7月26日付認可された。 平成17年度全会計の収支決算ならびに事業報告を承認した。 ななえ新病院旧建物解体に伴い、既存棟にアスベストの使用が発見されたため、アスベスト除去による工期の延長が必要となり、ななえ新病院・ケアハウス豊寿新築工事請負契約及び設計監理業務委託契約の工期及び監理業務期間、工事代金支払時期の変更契約をした。 ななえ新病院・ケアハウス豊寿新築工事に係り、温泉水排水希釈装置、温泉井戸の水位計の設置ならびに病棟安全対策上の監視カメラの設置が必要となり、工事施工業者の清水建設(株)に追加発注することとした。 ななえ新病院・ケアハウス豊寿新築工事に伴う基本財産処分の変更ならびに基本財産の担保提供物件の変更について、平成18年7月20日付で北海道知事から承認された。 函館市水道局から、ケンゆのかわ土地の一部の買収申し入れがあり、これを売却することとし、平成18年7月26日付で北海道知事から基本財産処分を承認された。</p>	
<p>2006年 平成18年</p>	<p>5月30日 日本自転車振興会から平成18年度自転車事故に関わる診断機器整備補助事業の補助金交付決定通知を受け事業を実施。平成18年9月29日事業を完了した。 函館五稜郭病院～X線テレビ装置一式</p>	
	<p>7月27日 旧豊寿荘建物解体撤去工事、ケンゆのかわ建物外壁補修・塗装工事を清水建設(株)と一括工事請負契約することに決定した。 介護保険制度改正による予防給付事業の開始に伴い法人4カ所の居宅介護支援事業所を2カ所に再編することとし、平成18年8月31日付を以て、居宅介護支援事業所谷地頭、花園の事業を中止した。 ななえ新病院・ケアハウス豊寿新築工事が平成18年7月19日に全て完了し、同日清水建設(株)から引渡を受けた。</p>	
	<p>9月4日 函館市から平成18年度函館市社会福祉施設整備事業補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成18年11月30日事業が完了した。 函館百楽園～テレビ更新事業(23台)</p>	<p>9月 安倍内閣が発足。</p>
	<p>9月14日 函館五稜郭病院看護部長 本間 豊子が平成18年9月30日付をもって定年退職となることから、再雇用し継続して看護部長を委嘱。 ケアマネジャー手当の廃止ならびに寒冷地手当額の改正に伴い職員給与規程及び契約職員給与規程の一部を改正した。 介護保険法・老人福祉法改正により、養護老人ホーム永楽荘の一部を事業転換し、特定施設入居者生活介護事業を平成18年10月1日から実施、あわせて養護老人ホーム内に訪問介護事業所(ヘルパーステーション)を設置した。 函館中央病院の許可病床数を600床から544床に変更した。</p>	

年代	事項	国内・函館トピックス
2006年 平成18年	<p>10月26日 函館市水道局へのケンゆのかわ土地売却に伴う基本財産土地の減、函館五稜郭病院の増改築、旧豊寿荘建物解体撤去、ななえ新病院旧棟建物の一部解体に伴う基本財産建物の増減による定款変更認可申請書を平成18年12月1日に北海道知事へ提出し、平成19年2月27日付認可された。 平成18年度本部・施設・看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認した。 CT2台一式を購入することに決定した。(函館中央病院) MRI一式を購入することに決定した。(函館中央病院) RI一式を購入することに決定した。(函館中央病院) 障害者自立支援法施行に伴いヘルパーステーション花園における障害者ホームヘルプサービス事業の新たな指定申請のため、事業を継続することとして指定申請を提出。平成18年10月1日付で指定を受けた。 ななえ新病院・ケアハウス豊寿新築に伴い、平成15年7月に国から医療の用に供する旨の用途指定により移譲を受けたが、当初の用途指定と新棟完成後の法解釈上の用途差異が生じ、国立病院機構と事業計画の変更ならびに譲渡代金の差額について交渉。結果、事業計画変更の承認を受け、譲渡代金差額分を支払うこととした。</p> <p>12月6日 旧豊寿荘跡地の排水設備敷設工事ならびに前面道路補修工事を清水建設(株)と工事請負契約することに決定した。 ケンゆのかわ建物外壁補修・塗装工事の追加工事を清水建設(株)に発注することに決定した。</p> <p>12月13日 北海道から平成18年度マンモグラフィ検診設備整備事業補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成19年1月15日事業が完了した。(函館五稜郭病院)</p>	
2007年 平成19年	<p>1月31日 健康管理センター健診システム ハード・ソフト一式を購入することに決定した。(函館五稜郭病院) 手術支援装置ナビゲーションシステム一式を購入することに決定した。(函館五稜郭病院)</p>	2月1日 上磯郡上磯町が合併して北斗市になる。
2007年 平成19年	<p>3月29日 函館中央病院診療部長 多田 博が退任 本部事務局次長 堀田 保のくるみ学園々長兼務を解く。 函館百楽園々長 本間 茂司の本部事務局総務課長兼務を解く。 くるみ学園々長に永井 滋を任命 ななえ新病院、ケアハウス豊寿新築による基本財産編入に伴う定款変更届を平成18年5月10日に北海道知事へ提出し、平成18年5月30日付で受理された。 子育て短期支援事業所くるみの受託運営について事務手続きの錯誤により、定款登記されていないことより、再度北海道知事へ定款変更認可申請書を提出することとした。 会計単位及び経理区分を現状にあわせ整理し、賞与引当金の条文新設に伴い経理規定の一部を改正した。 旅費支給要項を現状に則して抜本的な改正を行った。 職員就業規則、契約職員就業規則の定めにより、新たに出自規程を制定した。 職員就業規則、契約職員就業規則の定めにより、新たに表彰規程を制定した。 職員就業規則、契約職員就業規則の定めにより、それまで運用していた退職金制度を退職金規程として制定した。 非常勤契約訪問介護員就業規則を新たに制定した。 非常勤契約訪問介護員就業規則制定に伴う契約職員就業規則の一部を改正した。 割増賃金の基礎となる賃金に算入しない賃金についての限定列举による、職員給与規程、契約職員給与規程の一部を改正した。 平成18年度本部・施設・看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認した。 平成19年度全会計収支予算を承認した。 事業を中止していた居宅介護支援事業所谷地頭、花園の2居宅介護支援事業所ならびに函館中央病院併設の居宅介護支援事業所ちゅうおうの事業を、平成19年3月31日付を以て廃止することとした。 函館市から都市計画道路整備事業に係り、ケンゆのかわ土地の一部を迂回路として一時的に使用したい旨の申し入れがあり、平成19年7月から平成21年3月までの土地使用を許可することとし、一時的土地貸与としての基本財産処分承認申請を提出することとした。</p>	

第 期 (2007年4月～2008年3月)

年代	事項	国内・函館トピックス
	<p>4月26日 函館中央病院診療部長に丹田勝敏、本橋雅壽を任命 平成19年4月1日改正の男女雇用機会均等法に合わせ函館五稜郭病院就業規則の服務心得、懲戒、懲戒の種類の一部を改正した。 血管造影X線診断装置(血管系X線診断装置)一式並びに血管造影X線診断装置(循環器系X線診断装置)一式を導入することに決定した。(函館五稜郭病院)</p>	<p>4月1日 函館市地域交流まちづくりセンター利用開始。</p>
	<p>5月28日 日本自転車振興会から平成19年度体育事業その他の公益を目的とする整備補助事業の補助金交付決定通知を受け、事業を実施、平成20年1月21日事業が完了した。 函館中央病院～胃胸部併用X線テレビ検診車 一台</p>	
<p>2007年 平成19年</p>	<p>5月30日 平成19年5月31日付で任期満了となる現理事11名を再任 平成19年5月31日付で任期満了となる現監事2名を再任し、1名を新任 平成19年5月31日付で任期満了となる現評議員21名を再任し、2名を新任 函館中央病院副院長(経営担当)に古川裕一(常務理事)を任命 平成18年度全会計の収支決算並びに事業報告を承認した。 くるみ学園屋根修繕工事について入札を行い、(株)竹工務店と工事請負契約することに決定した。 旧豊寿荘跡地を基本財産から運用財産へと転用し、基本財産処分承認申請書を提出し平成19年8月28日付で北海道知事から承認された。</p>	
	<p>6月1日 平成19年5月31日付で任期満了となる理事長を互選 平成19年5月31日付で任期満了となる常務理事を互選</p>	
	<p>7月26日 体外衝撃波結石破碎装置一式を導入することに決定した。(函館五稜郭病院) 基本財産であるケンゆのかわ土地の一部を、函館市水道局から「公共下水道戸倉3号雨水補助幹線新設工事」の重機等作業スペースとして一時的に無償貸与することとし、基本財産処分承認申請をし、平成19年10月11日付で北海道知事から承認された。</p>	
	<p>8月30日 平成19年8月30日、函館市から平成19年度函館市社会福祉施設整備事業補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成19年10月31日事業が完了した。 永楽荘～給暖房ボイラー熱交換器取付工事</p>	
	<p>9月27日 函館五稜郭病院診療部長に宮澤政義、高木良雄、田中 恵を任命 監事職務要綱を廃止し監事監査規則を制定した。 永楽荘・函館百楽園外壁改修工事について一括入札を行い、(株)竹工務店と工事請負契約することに決定した。 ケンゆのかわ2階浴室改修工事について入札を行った結果、入札予定額を上回っていたことから最低入札業者である、(株)野辺工務店との話し合いにより随意契約した。 函館五稜郭病院運用財産である医師役宅五病ハイツを取り壊し、研修医用宿舎新築の入札の結果、入札予定額を上回っていたことから最低入札業者である、(株)高木組との話し合いにより随意契約した。</p>	<p>9月12日 安倍晋三首相が突然退陣。福田康夫氏が首相に任命された。</p>
	<p>10月30日 常務理事古川裕一、ななえ新病院事務部長兼務を解く。 函館中央病院事務部長大久保善之、出向によりななえ新病院事務部長に任命 函館中央病院事務部長に辻 繁を任命 定款準則の変更並びに評議員定数23名を24名へと変更するため定款変更認可申請書を平成19年12月14日に北海道知事へ提出し、平成20年1月21日付で受理された。 職員就業規則、別表第2「慶弔金等表」の一部を改正した。 平成19年度本部・施設・看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認した。</p>	
	<p>12月7日 評議員定数1名増により1名を新任</p>	

2008年 平成20年	<p>1月30日 高丘寮、函館百楽園建物修繕工事について一括入札を行い、(株)野辺工務店と工事請負契約することに決定した。 函館中央病院ICU改修工事について入札を行い、入札予定額を上回っていたことから最低入札業者である(株)高橋組と随意契約した。</p>	<p>1月 中国産ギョーザから メタミドホス検出。</p>
	<p>2月28日 ななえ新病院健康管理センター新設工事について建築工事を清水建設(株)、電気設備工事を(株)関電工、暖房・換気・衛生設備工事を高砂熱学工業(株)とそれぞれ随意契約した。 基本財産ケンゆのかわ土地の函館市への一時的貸与について函館市から植樹等の移転補償金の提示があり契約した。また樹木類の保管について見積合わせを実施し(株)田</p>	
	<p>3月27日 函館五稜郭病院看護部長本間豊子の嘱託期間が平成20年3月31日で満了となることから後任に、現函館五稜郭病院副看護部長九嶋圭子を看護部長に任命。 看護専門学校長関川節子の嘱託期間が平成20年3月31日で満了となることから後任に函館五稜郭病院病院長高田竹人を兼務発令。 現常務理事兼本部事務局長兼看護専門学校事務長兼函館中央病院副院長(経営担当)古川裕一の本部事務局長兼務を平成20年3月31日付をもって解き、後任に現本部事務局長次長堀田 保を任命し、あわせて総合施設長の兼務発令をした。 職員就業規則及び契約職員就業規則の服務規律にセクシャルハラスメントに関する事項を条文化し、これに係る定めを別にセクシャルハラスメントの防止に関する規程として制定した。 職員給与規程及び契約職員給与規程の手当額を一部改正した。 会計基準及び指導指針の取扱いが一部改正されたことに伴い経理規程の一部を改正した。 役員職員の定年退職に関する規則を廃止し、新たに病院長の定年退職に関する規則を制定した。</p>	

第 期 (2008年4月～2009年3月)

年代	事項	国内・函館トピックス
	<p>5月29日 ななえ新病院長 川村詔導が平成20年6月30日をもって雇用期間の満了を迎えることから、「病院長の定年退職に関する規則」に基づき、引き続き1年間再雇用することに決定。平成19年度全会計の収支決算ならびに事業報告を承認した。</p>	
	<p>6月18日 財団法人JKAから平成20年度自転車事故に関わる診断機器整備補助事業の補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成20年9月26日事業が完了した。 函館五稜郭病院 ～ 胸部X線撮影装置 1台(一式)</p>	<p>6月8日 東京・秋葉原で通り魔事件発生。 6月14日 岩手・宮城内陸地震。</p>
	<p>6月26日 函館市の「都市計画道路3・4・46見晴公園通り整備事業」に係り、基本財産ケンゆのかわ土地の一部を迂回路の利用につき一時的に貸与したことに伴い、当該土地使用料の提示が函館市からあり、契約することに決定した。 平成19年度繰越金処分を承認した。</p>	
	<p>7月31日 函館中央病院の駐車場用地隣接の岡本昭氏所有の土地及び家屋について、先方の売却意思により、駐車場管理を委託している「総合メディカル(株)」が取得し、これを駐車場用地として2年間賃借、購入することに決定した。(函館中央病院)</p>	
	<p>8月8日 函館市から平成20年度函館市社会福祉施設整備事業補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成20年10月9日事業が完了した。 ケンゆのかわ～給湯用ボイラー熱交換器取替工事(施設整備)</p>	
<p>2008年 平成20年</p>	<p>9月3日 函館市から平成20年度函館市社会福祉施設整備事業補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成20年9月11日事業が完了した。 函館百楽園～食堂・デイルーム用テレビ更新事業(大型液晶テレビ他一式)</p>	<p>9月1日 福田康夫首相が退陣。麻生太郎氏が首相に任命された。</p>
	<p>9月29日 函館市から指定管理者となっているデイサービスセンター谷地頭ならびにデイサービスセンター花園の指定管理期間が平成21年3月31日をもって満了となることから、当該更新に係り、デイサービスセンター谷地頭は更新せず指定を返上、デイサービスセンター花園は更新し引き続き経営していくことに決定した。 函館五稜郭病院職員就業規則の特別休暇を一部改正した。 文部科学省・厚生労働省通知「保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部を改正する省令の公布について」に伴い看護専門学校学則を一部改正した。 X線透視撮影装置2台及び心血管撮影装置1台(各一式)を購入することに決定した。(函館中央病院) 社会福祉法人全国社会福祉協議会がその前身である中央慈善協会の設立から100周年を迎えたことに伴い、同会から設立100周年記念特別表彰を受けた。</p>	
	<p>10月17日 財団法人中央競馬馬主社会福祉財団から平成20年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業施設等助成金、函館百楽園厨房機器(ガススチームコンベクションオープン)更新事業の交付決定通知を受け事業を実施、平成20年11月26日事業が完了した。</p>	
	<p>10月27日 平成20年度本部会計、施設会計、公益事業会計の収支補正予算を承認した。 函館百楽園会計の移行時減価償却特別積立預金の取崩を承認した。</p>	
	<p>12月5日 本部事務局長兼総合施設長 堀田保が平成21年1月31日をもって定年退職を迎えることから、高年齢者雇用安定法第9条第2項の規定に基づく労使協定及び函館厚生院再雇用職員就業規則に基づき、継続して本部事務局長兼総合施設長に任命。</p>	

年代	事項	国内・函館トピックス
	<p>2月26日 本部事務局長兼総合施設長 堀田保が平成21年3月31日をもって再雇用期間の満了を迎えることから、雇用を更新することとして、継続して本部事務局長兼総合施設長に任命。 電話交換設備一式をリースにより更新することに決定した。(函館中央病院)</p>	
<p>2009年 平成21年</p>	<p>3月30日 函館五稜郭病院長兼看護専門学校長 高田竹人の看護専門学校長の任を解き、後任に函館中央病院長 橋本友幸を看護専門学校長に兼務発令。 平成20年度本部会計、施設会計、公益事業会計の収支補正予算を承認した。 平成21年度全会計収支予算ならびに活動方針(事業計画)を承認した。 裁判員制度施行に伴い函館五稜郭病院職員就業規則、臨時職員就業規則の休暇を一部改正した。 函館厚生院契約職員就業規則の慶弔金等の取扱いについて一部改正した。 老人居宅介護等事業(訪問介護事業)の特殊性から、函館厚生院非常勤契約訪問介護員就業規則を新たに制定した。 函館厚生院職員給与規程、契約職員給与規程の不整合箇所及び条文整理により一部改正した。 320列CT装置1台一式を購入することに決定した。(函館五稜郭病院) くるみ学園居室改修工事について入札を行い、(株)モア建築事務所と工事請負契約をすることに決定した。</p>	

第X期（2009年4月～2010年3月）（平成21年度）		
年代	事項	国内・函館トピックス
2009年 平成21年	5月25日 ・平成21年5月25日付で社会福祉法人函館筑峰会から、存続法人が社会福祉法人函館厚生院となる法人合併(吸収)依頼文書を受理	・裁判員制度スタート。
	5月28日 ・平成20年度全会計の収支決算並びに事業報告を承認 ・平成21年5月31日付で任期満了となる現理事9名を再任、2名を新任 (再任:野又 肇、勝木 俊彰、高田 竹人、小村 修平、西野 鷹志、古川 裕一、橋本 友幸、齊藤 裕志、川村 詔導) (新任:老松 寛、本間 茂司) ・平成21年5月31日付で任期満了となる現監事2名を再任、1名欠員(再任:角谷 利夫、三浦 稔) ・平成21年5月31日付で任期満了となる理事長を互選(新任:高田 竹人) ・平成21年5月31日付で任期満了となる常務理事を互選(再任:古川 裕一) ・平成21年5月31日付で任期満了となる現評議員17名を再任し、7名を新任 (再任:野又 肇、勝木 俊彰、高田 竹人、小村 修平、西野 鷹志、古川 裕一、橋本 友幸、齊藤 裕志、川村 詔導、永井 康人、平野 美智子、畑 雅孝、老松 寛、山田 豊、高田 徹、神 好雄、辻 繁) (新任:外山 茂樹、武下 秀雄、藤田 信行、森 裕二、九嶋 圭子、小林 恵子、本間 茂司) ・社会福祉法人函館筑峰会との合併(吸収)検討委員会設置を決定。委員長を函館厚生院元理事長 村井 英夫、委員に、函館厚生院前理事長 金井 卓也、函館厚生院前理事 山那 順一、常務理事 古川 裕一を選任	
	6月1日 ・平成21年5月31日付で任期満了となった理事長を互選(新任:高田 竹人) ・平成21年5月31日付で任期満了となった常務理事を互選(重任:古川 裕一) ・ななえ新病院長 川村 詔導が平成21年6月30日をもって雇用期間の満了を迎え、「病院長の定年退職に関する規則」に基づき、引き続き1年間の再雇用を決定。(平成21年7月1日付)	
	6月3日 ・第1回社会福祉法人函館筑峰会との合併(吸収)検討委員会を開催	・新型インフルエンザ流行。 ・マイケル・ジャクソン死亡。
	6月9日 ・第2回社会福祉法人函館筑峰会との合併(吸収)検討委員会を開催	
	6月22日 ・第3回社会福祉法人函館筑峰会との合併(吸収)検討委員会を開催	
	6月29日 ・高丘寮各階和式便器取替工事他修繕一括工事の実施決定 ・空席の監事1名を選任(新任:河村 祥史) ・社会福祉法人函館筑峰会との合併(吸収)検討委員会から答申書を受理 ・社会福祉法人函館筑峰会からの法人合併(吸収)依頼に対し、合併(吸収)検討委員会答申書のとおり、受諾回答することを決定	
	6月30日 ・社会福祉法人函館筑峰会へ法人合併(吸収)受諾回答書を手交	
	7月30日 ・函館中央病院の注射薬自動払出システム(アンブルピッカー)一式の購入を決定	・函館開港150周年。 ・民主党鳩山代表、沖縄市の選挙遊説で普天間基地代替施設は「最低でも県外に」と発言。
	8月24日 ・外山 茂樹評議員逝去により同日付をもって評議員辞任	・第45回衆議院選挙で民主党が大勝利政権交代へ。
	8月31日 ・函館中央病院副院長 山田 豊が定年により副院長を退任 ・山田 豊評議員から評議員辞任の申出がありこれを受理	
	9月28日 ・函館中央病院1階総合受付改修工事の実施を決定 ・函館中央病院副院長に本橋 雅書を任命、診療部長に紺野 潤と水上 晋を任命(平成21年10月1日付) ・空席の評議員2名のうち1名を選任(新任:澤田 信子) ・ななえ新病院事務部長に佐々木 慎司を任命(平成21年10月1日付)	・消費者庁発足。 ・民主、社民、国民新の3党が連立政権樹立で合意。 ・前原誠司国土交通相、ハツ場ダム建設中止を表明。
	10月1日 ・社会福祉法人函館筑峰会と合併(吸収)契約書を締結	・オバマ米大統領にノーベル平和賞。 ・バグダッド中心部で連続爆弾テロ。死者155人、負傷者約700人。
	10月2日 ・平成21年6月5日、財団法人JKAから平成21年度自転車事故に関わる診断機器整備補助事業の補助金交付決定通知を受け、事業を実施。平成21年10月2日事業が完了した (函館中央病院～神経機能検査装置 一式 補助金4,750,000円)	
	10月29日 ・平成21年度本部、施設、看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認 ・「介護職員処遇改善交付金事業」実施に係る職員給与規程ならびに契約職員給与規程の一部を改正 ・函館五稜郭病院副院長に小川 考了と田中 恵を任命、診療部長に仙石 和文を任命(平成21年11月1日)	
	10月31日 ・法人2ヶ所の居宅介護支援事業所を1ヶ所に統合、センター化することとし、平成21年10月31日付をもって、居宅介護支援事業所ケンゆのかわの事業を閉鎖、廃止した。	
12月4日 ・函館五稜郭病院のMRI 1台の更新(入替)及びMRI 1台のバージョンアップの実施を決定 ・社会福祉法人函館筑峰会との法人合併(吸収)に伴い、存続法人となる合併後の函館厚生院の定款変更を、平成21年12月22日付合併認可申請書に添付し申請することを決定		
12月31日 ・平成21年8月31日、函館市から平成21年度函館市社会福祉施設整備事業の補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成21年12月31日事業完了 (くるみ学園～1、2階居室壁床改修事業 補助金605,000円)		

年代	事項	国内・函館トピックス
	1月7日 ・社会福祉法人函館筑峰会との法人合併(吸収)に伴う合併認可書及び定款変更認可書を北海道から受理	・日本年金機構発足(社会保険庁廃止)。 ・日本航空、会社更正法通用申請。
	1月20日 ・北海道新聞全道版に社会福祉法人函館筑峰会と合併(吸収)することの広告を掲載	
	1月28日 ・理事長兼函館五稜郭病院長 高田 竹人、定年により函館五稜郭病院長の兼務を解く(平成22年1月31日付) ・常務理事兼函館中央病院副院長(経営担当)兼看護専門学校事務長 古川 裕一の函館中央病院副院長(経営担当)兼務を解く(平成22年1月31日付) ・小村 修平理事、評議員から平成22年1月31日付けをもって理事、評議員辞任の申出がありこれを受理 ・空席の評議員2名のうち1名を選任(新任:室田 則之) ・空席の理事1名を選任(新任:室田 則之) ・函館五稜郭病院長に老松 寛を任命(平成22年2月1日付) ・函館中央病院の育児介護休業規程、職員貸付金規程、退職金規程を各種法令改正及び労使協定により一部改正した	
	2月26日 ・函館五稜郭病院前病院長 高田 竹人(理事長)に対し、函館五稜郭病院名誉院長の称号を付与 ・函館中央病院のウォッシャーディスインフェクターシステム一式の購入を決定	
	3月23日 ・平成22年2月17日、北海道から定住自立圏等民間投資促進交付金事業の交付決定通知を受け事業を実施、平成22年3月23日事業完了 (函館中央病院～医療機器・電子カルテ整備事業(電子カルテシステム・据置型デジタル式乳房用X線診断装置) 交付金96,600,000円)	・東京都墨田区の電波塔「東京スカイツリー」が東京タワーを超え338mの日本一高い建築物に。完成時の高さは634m。
2010年 平成22年	3月24日 ・平成22年2月17日、北海道から定住自立圏等民間投資促進交付金事業の交付決定通知を受け事業を実施、平成22年3月24日事業が完了した (函館五稜郭病院～電子カルテ整備事業(Web型地域連携パスシステム) 交付金6,600,000円)	
3月30日 ・平成21年度本部、施設、看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認 ・平成22年度全会計収支予算ならびに活動方針(事業計画)を承認 ・函館中央病院診療部長 丹田 勝敏が退任(平成22年3月31日付) ・函館中央病院診療部長に浅島 弘志を任命(平成22年4月1日付) ・函館五稜郭病院診療部長に稲岡 正己を任命(平成22年4月1日付) ・本部事務局兼総合施設長 堀田 保が平成22年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続して本部事務局兼総合施設長に任命 ・ケアハウスベアニエス施設長に相馬 正子を任命(平成22年4月1日付) ・特別養護老人ホームももハウス施設長に加藤 勝康を任命(平成22年4月1日付) ・介護老人保健施設もも太郎施設長に葛西 善一郎を任命(平成22年3月30日付) ・法人合併に伴う、3施設(ベアニエス、ももハウス、もも太郎)の平成22年4月1日からの就業規則を含む諸規則、諸規程を、現函館筑峰会での規則等を法人名を変更して適用することとした ・職員就業規則、契約職員就業規則、非常勤契約訪問介護員就業規則、職員給与規程、契約職員給与規程、退職金規程を、函館筑峰会合併に係る3施設(ベアニエス、ももハウス、もも太郎)を適用除外とする一部改正をした ・職員就業規則、契約職員就業規則、非常勤契約訪問介護員就業規則の年次有給休暇取得について労働基準法改正に基づき一部改正した ・職員給与規程、契約職員給与規程の時間外割増賃金率について、労働基準法改正に基づき一部改正した		
	3月31日 ・函館百楽園の函館市との「食」の自立支援事業(訪問給食事業)委託契約を期間満了をもって事業終了とした	

第XI期（2010年4月～2011年3月）（平成22年度）

年代	事項	国内・函館トピックス
2010年 平成22年	4月1日 ・社会福祉法人函館筑峰会との法人合併(吸収)に係る合併登記手続が完了。それまで旧社会福祉法人函館筑峰会(平成22年3月31日を以て解散)経営施設であった「ケアハウス ベイアニエス」、「特別養護老人ホーム ももハウス」、「介護老人保健施設 もも太郎」の3施設の経営が移譲	・子ども手当て、高校無償化法施行。
	4月18日 ・永井康人評議員逝去により評議員辞任	
	5月28日 ・平成21年度全会計の収支決算並びに事業報告を承認 ・川村詔導理事、評議員から平成22年6月30日付をもって理事・評議員辞任の申出がありこれを受理 ・空席の評議員3名のうち2名を選任(新任:佐々木 隆雄、綿谷 靖彦) ・川村理事の辞任に伴い空席となる理事1名を選任(新任:綿谷 靖彦) ・ななえ新病院長 川村 詔導が雇用期間満了により病院長退任(平成22年6月30日付) ・ななえ新病院長に函館中央病院小児科臨床顧問 綿谷 靖彦を任命(平成22年7月1日付)	・日米両政府、普天間基地移転先を名護市辺野古とする共同声明。
	6月28日 ・特別養護老人ホームももハウス施設長 加藤 勝康が辞任(平成22年6月30日付) ・特別養護老人ホームももハウス施設長にケアハウス豊寿施設長であった佐藤 章二を、ケアハウス豊寿施設長にデイサービスセンター花園施設長であった水沢 宜史を、デイサービスセンター花園施設長に居宅介護支援事業所函館百楽園介護支援専門係長であった前田 敦をそれぞれ任命(平成22年7月1日付) ・救護施設高丘寮長 川島 明が定年により退職(平成22年7月31日付) ・本部事務局長兼総合施設長 堀田 保の総合施設長兼務を解き、新たに高丘寮長兼務(平成22年8月1日付) ・育児介護休業法改正に基づき、子育て期間中の職員に対する短時間勤務制度、短期休暇制度の創設など、育児介護休業規程、職員就業規則、契約職員就業規則、非常勤契約訪問介護員就業規則、職員給与規程、契約職員給与規程を改正した	・鳩山首相、普天間問題で引責、退陣表明。菅直人が民主党代表に、菅内閣成立。 ・小惑星イトカワ着陸の探査機(はやぶさ)、7年ぶりに地球へ帰還。 ・函館競馬場、リニューアルオープン。
	7月30日 ・函館中央病院の賃金体系を労使協定により、年功序列型賃金体系から、新賃金表を制定、新賃金体系とした	・箱館奉行所を復元して公開。
	8月31日 ・函館中央病院看護部長 澤田 信子が定年により退職(平成22年8月31日付)	・チリのサンホセで鉱山落盤事故。
	9月1日 ・函館中央病院看護部長に函館中央病院副看護部長であった三橋 鈴代を任命(平成22年9月1日付)	・尖閣列島付近で中国漁船が海上保安庁庁巡視船に衝突。
	10月28日 ・平成22年度本部、施設、看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認 ・函館五稜郭病院の病院食温冷配膳車24台の購入を決定	・鈴木章、根岸英一、ノーベル化学賞受賞。
	12月3日 ・函館五稜郭病院の人工心肺装置一式の購入を決定	・東北新幹線、新青森まで全線開通。
	2011年 平成23年	1月28日 ・平成22年6月2日、財団法人JKAから平成22年度検診車の整備補助事業の補助金交付決定通知を受け、事業を実施、平成23年1月28日事業完了 (函館五稜郭病院～胃胸部併用X線テレビ検診車 1台 補助金22,050,000円) ・函館中央病院の手術用マイクロ顕微鏡一式の購入を決定
2月28日 ・函館中央病院就業規則の懲戒に係る条項他を改正した ・各施設(函館百楽園、ももハウス、くるみ学園、包括支援センター、看護専門学校)地上デジタルテレビ153台の一括購入を決定		・ニュージーランドでM6.3の地震、死者184人中に日本人28人。
3月30日 ・平成22年度本部、施設、看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認 ・平成23年度全会計収支予算ならびに活動方針(事業計画)を承認 ・ななえ新病院長 綿谷 靖彦が平成23年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続してななえ新病院長に任命 ・ケンゆのかかわ施設長 後藤 暉が平成23年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続してケンゆのかかわ施設長に任命 ・もも太郎施設長 葛西 善一郎が平成23年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続してもも太郎施設長に任命 ・本部事務局長兼高丘寮長 堀田 保が平成23年3月31日をもって雇用期間満了となることから、高丘寮長の兼務を解き、雇用更新し、継続して本部事務局長に任命 ・高丘寮長にケンゆのかかわ事務係長であった石黒 司を任命(平成23年4月1日付) ・函館五稜郭病院のマンモグラフィー一式の購入を決定 ・くるみ学園の定員を、児童の入所状況を勘案し、平成23年4月1日から110名を100名に定員変更		・3/11 東日本大震災、三陸沖震源でM9.0。津波で岩手、宮城、福島3県に壊滅的被害。東京電力福島第1原発の炉心冷却システム停止で初の「原子力緊急事態宣言」発令。 ・函館・西部地区を中心に津波被害。 ・3/12 福島第1原発で爆発。多量の放射性物質が拡散、食品や健康への不安が全国に広がる。 ・3/18 原子力安全・保安院、原発事故レベルを「5」と発表。のちの4.12にチェルノブイリ級の「レベル7」へ修正。
3月31日 ・平成23年2月10日、北海道渡島総合振興局から平成22年度子育て支援対策事業費補助金の交付決定を受け、事業を実施、平成23年3月31日事業完了 (くるみ学園～児童養護施設的生活環境改善事業他 一式 補助金17,405,000円)		

第XII期（2011年4月～2012年3月）（平成23年度）

年代	事項	国内・函館トピックス
	4月28日 ・函館五稜郭病院就業規則を労使協定により、特別休暇等を一部改正 ・函館五稜郭病院病室冷房改修工事の実施を決定	
	5月27日 ・平成22年度全会計の収支決算並びに事業報告を承認 ・平成23年5月31日付で任期満了となる現理事9名を再任、2名を新任 (再任:高田 竹人、古川 裕一、野又 肇、勝木 俊彰、橋本 友幸、齊藤 裕志、老松 寛、室田 則之、綿谷 靖彦) (新任:河村 祥史、佐藤 章二) ・平成23年5月31日付で任期満了となる現監事2名を再任、1名を新任 (再任:角谷 利夫、三浦 稔)、(新任:渡邊 兼一) ・平成23年5月31日付で任期満了となる理事長を互選(再任:高田 竹人) ・平成23年5月31日付で任期満了となる常務理事を互選(再任:古川 裕一) ・平成23年5月31日付で任期満了となる現評議員19名を再任し、5名を新任 (再任:高田 竹人、古川 裕一、野又 肇、勝木 俊彰、橋本 友幸、齊藤 裕志、老松 寛、室田 則之、綿谷 靖彦、平野 美智子、畑 雅孝、高田 徹、神 好雄、辻 繁、藤田 信行、九嶋 圭子、小林 恵子、佐々木 隆雄、三橋 鈴代) (新任:河村 祥史、佐藤 章二、杉本 和彌、永井 正人、田中 恵) ・函館厚生院退職金規程の適用除外となっていた旧筑峰会3施設(ペイアニエス、ももハウス、もも太郎)について、退職金制度の統一化を図るため規程の一部を改正	・北海道旅客鉄道石勝線占冠駅 - 新夕張駅間を走行中であった特急列車(スーパーおおぞら14号)の車内で煙が発生し、同列車の乗客が避難する事故が発生。
	6月24日 ・函館五稜郭病院就業規則を労使協定により、企業型確定拠出年金(401K)を導入することとなり、これに伴う確定拠出年金規程制定のため、就業規則の一部を改正 ・ペイアニエス給与規程を函館厚生院給与規程に合わせ、給与支給日の統一、諸手当額に時間外手当等を追加するなど、給与規程の一部改正	・高速道路通行料における、土曜・休日上限1000円の実験的サービスが終了。同時に、一部区間の無料化実験も終了する。
	6月30日 くるみ学園新築工事の入札を実施し、最低価格業者の(株)大林組が落札	
	7月1日 ・くるみ学園新築工事の工事請負契約を締結 ・くるみ学園新築工事の設計監理業務委託契約を(株)日本設計札幌支社と締結	
	7月20日 くるみ学園新築工事着工	・地上アナログテレビ放送が停波。日本のアナログBS放送が停波。
2011年 平成23年	7月29日 ・函館市から指定管理者となっているデイサービスセンター花園の指定管理期間が平成24年3月31日をもって満了となることから、引き続き指定管理者の指定を受けることとして、函館市に対し、指定管理者指定申請書を提出。事業を継続することとした(指定期間:平成24年4月1日～平成27年3月31日まで)	
	9月26日 ・藤田 信行評議員から平成23年9月30日付をもって評議員辞任の申出がありこれを受理 ・藤田 信行評議員の辞任に伴い空席となる評議員1名を選任(新任:本橋 雅壽) ・函館中央病院副院長 藤田 信行が定年により副院長を退任(平成23年9月30日付) ・函館五稜郭病院の検診車駐車場用地として、函館市柳町5番25号、5番26号の土地の購入を決定 ・函館中央病院立体駐車場解体工事の実施を決定 ・函館中央病院のMRI1台の更新(入替)及びMRI1台のアップグレード一式を6年払いで割賦購入を決定 ・各施設(永楽荘、高丘寮、函館百楽園、ももハウス)電話交換機システム(PBX)及びナースコールシステム一括更新事業の実施を決定	
	10月28日 ・平成23年度本部、施設、看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認 ・函館中央病院の駐車場管理を委託している「総合メディカル」が、駐車場用地隣接の高森節子氏所有の土地(古屋付)を取得したことに伴い、駐車場用地として同社から2年間賃借し、その後、函館中央病院が運用財産として当該土地を購入することに決定 ・職員互助会規程の助成対象者に、院の貢献者を追加するなど規程を一部改正し、あわせて運用内規である職員互助会取扱要領についても条文整理等を行った	・道東自動車道の夕張IC-占冠IC間が開通。
	11月17日 ・くるみ学園新築に伴う初度調弁の入札を実施。家具は、(株)テーオー小笠原が、オフィス用品は、(株)近藤商会が、電化製品は、(株)ヤマダ電機が落札し、各社と購入契約を締結	
	11月30日 ・函館中央病院事務部長 辻 繁が平成23年11月30日をもって定年となることから、嘱託契約として再雇用することとして、継続して函館中央病院事務部長に任命	
	12月2日 ・函館五稜郭病院副院長に森 裕二を任命(平成24年1月1日付)	・指名手配されていたオウム真理教の平田信が午後11時50分頃に警視庁丸の内警察署に出頭。翌1月1日未明に逮捕。
	12月31日 ・平成23年7月15日、函館市から平成23年度函館市社会福祉施設整備事業の補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成23年12月31日事業完了 (函館百楽園～居室他パネルヒーター取替工事業 補助金252,000円)	

年代	事項	国内・函館トピックス
	1月27日 ・ケンゆのかわ厨房機器の購入を決定	
	2月10日 ・くるみ学園新築建物の完成、引渡	
	2月17日 ・平成23年10月13日、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団から、平成23年度公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業「永楽荘大型洗濯機更新事業」の交付決定通知を受け、事業を実施、平成24年2月17日事業完了(永楽荘～業務用大型洗濯機 1台 助成金880,000円)	
	2月20日 ・くるみ学園旧園舎解体工事着手	
	2月27日 ・辻 繁評議員から平成24年3月31日付をもって評議員辞任の申出がありこれを受理 ・辻 繁評議員の辞任に伴い空席となる評議員1名を選任(新任:横山 基樹) ・函館中央病院事務部長 辻 繁が平成24年3月31日の嘱託契約満了をもって退任することから、後任に函館中央病院薬剤部長兼事務次長 横山 基樹を事務部長に任命(平成24年4月1日付) ・ももハウスが函館市と委託契約により実施してきた「食」の自立支援事業(訪問給食事業)が、数年来函館市からの新規利用者委託が皆無のことなどの理由から、今後の事業が困難であると判断し、平成24年3月31日の委託契約期間満了をもって事業を終了することとした	
2012年 平成24年	3月30日 ・平成23年度本部、施設、看護専門学校の各会計の収支補正予算を承認 ・平成24年度全会計収支予算ならびに活動方針(事業計画)を承認 ・函館中央病院長兼看護専門学校長 橋本 友幸の看護専門学校校長の任を解き、後任に函館五稜郭病院長 老松 寛を看護専門学校長に兼務発令(平成24年4月1日付) ・本部事務局長 堀田 保が平成24年3月31日の嘱託契約満了をもって退任することから、後任に函館百楽園長 本間 茂司を本部事務局次長に任命、函館百楽園長の後任として、函館百楽園副園長 澤田 信子を函館百楽園長に任命(平成24年4月1日付) ・ななえ新病院長 綿谷 靖彦が平成24年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続してななえ新病院長に任命 ・ケンゆのかわ施設長 後藤 暉が平成24年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続してケンゆのかわ施設長に任命 ・もも太郎施設長 葛西 善一郎が平成24年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続してもも太郎施設長に任命 ・ななえ新病院の介護療養病床について、6年後、制度として廃止が決定していること、また、平成24年4月の報酬改定において介護報酬がダウンすることなどの理由から、今後の安定した経営を図るため、現4階介護療養病棟を医療療養病棟(入院基本料2)へ転換することとした。また、現在入院基本料2で運営している5階、6階医療療養病棟を入院基本料1へランクアップを図ることで、診療報酬増が期待できることなどの理由から病棟再編を実施することに決定した	
	3月31日 ・平成23年10月17日、北海道から平成23年度道南圏地域医療再生計画事業費補助金の内示を受け、事業を実施、平成24年3月31日事業完了(函館中央病院～周産期医療体制機能強化事業 補助金	

第XIII期（2012年4月～2013年3月）（平成24年度）

年代	事項	国内・函館トピックス
2012年 平成24年	4月27日 ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事に係る設計監理者の選定は、理事長の諮問により「函館五稜郭病院増改築建設委員会」を組成。同委員会によるプロポーザルを実施し、審査結果を理事長へ答申。理事会において機関決定することを承認。 (委員会メンバー～委員長 古川常務理事、委員 室田理事、橋本理事、老松理事、畑事務部長、横山事務部長) ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事プロポーザル(技術提案)の依頼は、設計条件面において相応の技術力と実績のある(株)石本建築事務所、(株)久米設計、(株)日建設計、(株)日本設計、(株)山下設計(かな順)の5社を指名	
	5月21日 ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事に係る指名5社のうち、(株)日建設計、(株)山下設計の2社からプロポーザル辞退の申出があり、残る(株)石本建築事務所、(株)久米設計、(株)日本設計の3社により、平成24年5月21日にプロポーザルを開催。各社から提出の技術提案書ならびにヒアリングによる審査を実施	・北海道電力泊発電所が23:00に運転停止、1970年以来42年ぶりに日本のすべての原子力発電所50基が稼働停止となる。 ・東京スカイツリーおよび、東京ソラマチなど周辺の商業・観光・業務施設を含む東京スカイツリータウン開業。
	5月29日 ・平成24年4月1日、くるみ学園新築補助事業対象外工事として、くるみ学園外構工事(児童用自転車駐輪場2棟建築を含む)着工。平成24年5月29日完成。同日、(株)大林組から引渡しを受けた	
	5月30日 ・平成23年度全会計の収支決算ならびに事業報告を承認 ・ももハウス及びもも太郎外壁改修他修繕一括工事の実施を決定 ・函館中央病院健診システム一式を5年リースにより更新することを決定	
	6月18日 ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事について、函館五稜郭病院増改築建設委員会の審議の結果、設計監理委託業者を(株)日本設計とする答申案を理事長へ提出	・オウム真理教事件の逃走犯の菊地直子、最後の特別手配犯の高橋克也を逮捕。 ・消費税を2014年4月1日から8%、2015年10月から10%に引き上げる消費税法改正案が衆議院本会議で可決。
	6月29日 ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事に係る設計監理委託業者を、(株)日本設計札幌支社とすることを決定	
	7月12日 ・くるみ学園新築による基本財産編入に伴う定款変更認可	
	7月27日 ・各施設(永楽荘、高丘寮、函館百楽園、ケンゆのかわ、ももハウス、もも太郎)の医療・介護用品一括購入事業の実施を決定	・函館市市制施行90周年 ・オスプレイが岩国基地に到着
	9月19日 ・函館百楽園増床計画に関して、平成24年7月30日に函館市へ、第5期函館市介護保険事業計画に基づく特別養護老人ホーム整備・運営事業者の応募申請をしたところ、平成24年9月19日付で選外の通知を受理	
	9月28日 ・ななえ新病院事務部長 佐々木 慎司が平成24年9月30日をもって出向期間満了となることから、後任に函館五稜郭病院事務次長 坂野 元彦を出向によりななえ新病院事務部長に任命(平成24年10月1日付) ・函館五稜郭病院の患者専用駐車場確保のため函館市五稜郭町56番14の土地の購入を決定 ・函館百楽園の訪問入浴車購入事業の実施を決定 ・函館五稜郭病院のX線透視診断装置一式及び透析用監視装置27台の更新を決定	・北海道長万部町で北海道新幹線新函館-札幌間起工式挙行。
	9月30日 ・平成24年7月31日、北海道から平成24年度道南圏地域医療再生計画事業費補助金の決定通知を受け、事業を実施、平成24年9月30日事業完了(函館五稜郭病院～地域がん診療連携拠点機能強化事業補助金208,135,000円)	
	10月26日 ・平成24年度本部・施設・公益事業の各会計の収支補正予算を承認 ・ペイアニエス、ももハウス、もも太郎の函館厚生院給与体系への統合を図るため、函館厚生院職員就業規則及び給与規程の一部を改正。また、これに伴い、ペイアニエス・ももハウス・もも太郎の就業規則及び給与規程ならびに各種付属規程を廃止	
	11月11日 ・函館中央病院が、永年道南圏域の二次病院として尽力したことに対し、北海道表彰規則に基づく北海道知事表彰として、平成24年11月11日に「北海道社会貢献賞(救急医療功労賞)」を受賞	・道央自動車道 森IC-大沼公園IC間開通。
	12月7日 ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事の基本計画および資金計画を承認 ・函館五稜郭病院就業規則の定年退職の取り扱いについて、労使協定により、現状の運用にあわせ一部改正	・第46回衆議院議員総選挙。野党第一党の自由民主党が単独で絶対安定多数(269議席)を確保する大勝で、与党に返り咲く。自由民主党総裁・安倍晋三が内閣総理大臣に再就任。自民党・公明党の自公連立政権による第2次安倍内閣が発足。
	12月31日 ・平成24年9月5日、函館市から平成24年度函館市社会福祉施設整備事業の補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成24年12月31日事業完了 (高丘寮～厨房電気温蔵庫更新事業 補助金522,000円) (ケンゆのかわ～全自動洗濯脱水機更新事業 補助金619,000円)	

年代	事項	国内・函館トピックス
2013年 平成25年	<p>1月28日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館五稜郭病院長 老松 寛が平成25年2月28日をもって定年となることから、「病院長の定年退職に関する規則」に基づき、雇用更新することとして、継続して函館五稜郭病院長に任命(任期:平成25年3月1日～平成26年2月28日) ・ベアニエス施設長 相馬 正子が平成25年2月28日をもって定年となることから、函館厚生院再雇用職員就業規則ならびに高年齢者雇用安定法の規定に基づく労使協定により、嘱託職員として再雇用することとして、継続してベアニエス施設長に任命(任期:平成25年3月1日～平成26年3月31日) ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事の入札について、下記8社からの入札参加申出を報告(参加申出業者～(株)今井工務店、(株)大林組、小泉建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)高木組、(株)高橋組、(株)森川組) ・ももハウスの機械浴槽購入事業の実施を決定 ・ケンゆのかわの電話交換機(PBX)システム更新および2階ナースコールシステム新設事業の実施を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立桜宮高等学校で体罰自殺事件が発覚。この事件以降、他校でも次々と体罰問題が明らかに。
	<p>1月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年5月29日、財団法人JKAから、平成24年度検診車の整備補助事業の補助金交付決定通知を受け、事業を実施、平成25年1月30日事業完了(函館五稜郭病院～胃胸部併用X線テレビ検診車 1台 補助金22,050,000円) 	
	<p>2月20日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事について、事前に申出のあった8社による入札を実施したが不調。直ちに、5社(初度入札より3社入札辞退)による再度入札を実施したが、再び不調。このため、規定に基づき最低入札業者と話し合いに移行し、交渉を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・元横綱大鵬、故納谷幸喜(享年72)の国民栄誉賞の授賞式(受取は夫人)。
	<p>2月25日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事の入札結果を報告。今後の随意契約交渉に向けた基本条件ならびに交渉手順について決定 	
	<p>3月18日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事について、入札執行後の随意契約交渉の経過を報告。函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事請負契約を大成建設(株)と締結することを決定。あわせて、契約額が当初予算額ならびに入札予定額を超過する額となることを承認 ・函館五稜郭病院新中西棟建築及び院内改修工事の設計監理業務委託契約を(株)日本設計札幌支社と締結することを決定 	
	<p>3月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度本部・施設・公益事業の各会計の収支補正予算を承認 ・平成25年度全会計収支予算ならびに活動方針(事業計画)を承認 ・函館中央病院副院長に、渡邊 豊、紺野 潤を任命(平成25年4月1日付) ・函館五稜郭病院副院長に、中田 智明を任命(平成25年4月1日付) ・ななえ新病院長 綿谷 靖彦が平成25年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続してななえ新病院長に任命 ・ケンゆのかわ施設長 後藤 暉、もも太郎施設長 葛西 善一郎、函館百楽園施設長 澤田 信子が平成25年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新し、継続して各施設長に任命 ・函館五稜郭病院の患者専用駐車場確保のため函館市五稜郭町55番3の土地の購入を決定 ・高年齢者雇用安定法の改正に伴い、労使協定により、函館中央病院の定年退職者再雇用職員就業規則を新たに制定 ・高年齢者雇用安定法の改正に伴い、労使協定により、函館五稜郭病院の再雇用規程を一部改正 ・高年齢者雇用安定法の改正に伴い、再雇用基準の見直しならびに再雇用職員の給与基準の明確化を図るなど函館厚生院再雇用職員就業規則の一部を改正 ・函館厚生院再雇用職員就業規則の改正に伴い、職員就業規則の定年退職に係る条文整理ならびに退職金規程の再雇用職員に関する退職金の取扱いについて一部改正 	<ul style="list-style-type: none"> ・大相撲の横綱白鵬が9度目の全勝優勝、故大鵬・故双葉山の8回の記録を超える。 ・日本の国債、借入金、政府短期証券の合計金額(いわゆる「国の借金」)が2012年度末時点(当初予算ベース)で1000兆円の大台を突破。
	<p>3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年12月4日、北海道から平成24年度広域救急医療対策事業(小児医療施設設備整備事業)補助金の決定通知を受け、事業を実施、平成25年3月31日事業完了(函館中央病院～広域救急医療対策事業(小児医療施設設備整備事業) 補助金6,876,000円) 	

第XIV期（2013年4月～2014年3月）（平成25年度）

年代	事項	国内・函館トピックス
2013年 平成25年	<p>5月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度全会計の収支決算並びに事業報告を承認 平成25年5月31日付で任期満了となる現理事10名を再任、1名を新任 (再任:高田 竹人、古川 裕一、野又 肇、勝木 俊彰、橋本 友幸、齊藤 裕志、老松 寛、室田 則之、綿谷 靖彦、河村 祥史) (新任:永井 滋) 平成25年5月31日付で任期満了となる現監事3名を再任 (再任:角谷 利夫、三浦 稔、渡邊 兼一) 平成25年5月31日付で任期満了となる理事長を互選(再任:高田 竹人) 平成25年5月31日付で任期満了となる常務理事を互選(再任:古川 裕一) 平成25年5月31日付で任期満了となる現評議員20名を再任し、4名を新任 (再任:高田 竹人、古川 裕一、野又 肇、勝木 俊彰、橋本 友幸、齊藤 裕志、老松 寛、室田 則之、綿谷 靖彦、河村 祥史、平野 美智子、畑 雅孝、高田 徹、九嶋 圭子、小林 恵子、佐々木 隆雄、三橋 鈴代、永井 正人、本橋 雅壽、横山 基樹) (新任:永井 滋、西尾 正範、武下 秀雄、中田 智明) 函館五稜郭病院事務部長 畑 雅孝が平成25年5月31日をもって定年となることから、臨時職員として再雇用することとし、継続して函館五稜郭病院事務部長に任命 永楽荘浴室改修工事の実施を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用率を2%に引き上げ。 高齢厚生年金の報酬比例部分について、男性の支給開始年齢を同年度から12年をかけて段階的に65歳に引き上げ開始。 東京ドームにて、長嶋茂雄と松井秀喜に対する国民栄誉賞授与式挙行。 函館市国際水産・海洋総合研究センター開設。
	<p>6月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> 函館五稜郭病院生理検査システム一式の購入を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山が世界文化遺産に登録。
	<p>7月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者雇用安定法の改正に伴い、ななえ新病院の再雇用規程を一部改正 各施設(永楽荘、高丘寮、函館百楽園、花園、ケンゆのかわ、ももハウス、もも太郎)の医療・介護用品一括購入事業の実施を決定 くるみ学園の除雪車購入事業の実施を決定 函館五稜郭病院のRISシステム一式の更新を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道森町のJR北海道函館本線で、JR貨物の貨物列車が倒木に乗り上げ脱線、八雲駅-森駅間が不通となり、札幌駅-函館駅間の特急が発発から全面運休したのははじめ、トワイライトエクスプレスなど列車32本が運休。
	<p>8月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> 函館五稜郭病院副院長 小川 考了が退任 	
	<p>9月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> ななえ新病院事務部長 坂野元彦が平成25年9月30日をもって出向期間満了となることから、継続して出向によりななえ新病院事務部長に任命 函館中央病院の患者専用駐車場の一部として賃借している函館市本町13番6の星野つや子氏所有の土地を、平成28年9月30日の賃借借契約期間満了時に購入することに決定 函館五稜郭病院のPACSシステム一式と動画像システム一式の更新を決定 永楽荘の厨房機器更新事業の実施を決定 函館五稜郭病院の放射線治療システム装置及び放射線治療システム用自動位置決め装置の保守契約を1年契約により締結することを決定 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭向け電気料金値上げ。北海道電力は7.73%、東北電力は8.94%、四国電力が7.80%の値上幅。 JR北海道函館本線大沼駅構内で、貨物列車が脱線する事故。同事故を機に行われた調査により、レール幅が脱線を防ぐ「整備許容値」を超過しながら放置されていたことが判明、同月25日までに同社管内で約270箇所の変位地点が発見される。
	<p>10月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度本部、施設、公益事業の各会計の収支補正予算を承認 七飯町から、七飯町立学校給食センター整備計画に係り、ななえ新病院土地の譲渡申入れがあり、条件として、用地面積は、最大で5,000㎡を上限、譲渡期日は平成26年3月末日としたい意向が示された。本件は法人の基本財産処分で、且つ処分面積も未確定のため、予め監督庁である北海道へ照会。北海道からは、本事業は時間的な制約もあり、5,000㎡を限度として売却することで理事会の議決を得、売却面積確定後、改めて理事会・評議員会に報告することで可との回答を得た。学校給食センターは七飯町にとって必要不可欠な施設であり、同条件により七飯町へ売却することを承認 職場におけるパワーハラスメントを防止するため、ななえ新病院パワーハラスメント防止規程を制定 職場におけるパワーハラスメントを防止するため、本部・施設・看護専門学校パワーハラスメントの防止に関する規程を制定。また、函館厚生院就業規則、契約職員就業規則及び非常勤契約訪問介護員就業規則の服務規律に、パワーハラスメントを禁止する規定を新設 北海道の平成25年度地域別最低賃金の時間額改定に伴い、本部・施設・看護専門学校の契約職員給与規程ならびに非常勤契約訪問介護員就業規則を一部改正 函館五稜郭病院の患者用ベッド更新事業(全527台他付属品一式)の実施を決定 函館中央病院のCRシステム一式を6年リースによる更新を決定 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道警察東警察署、9月3日にファッションセンターしまむら苗穂店で、パート従業員の女性ら2人に土下座をさせ、自宅に来て謝罪をするとの念書を書かせた上、従業員に土下座させた様子を撮影しTwitterに投稿した女を強要罪容疑で逮捕 東京都三鷹市の民家前の路上で、住民の女子高生が首を刃物で切られて倒れているのが見つかり、病院搬送後死亡(三鷹ストーカー殺人事件)。 秋の園遊会の最中に、山本 太郎参議院議員が福島第一原子力発電所事故の解決を訴えた手紙を天皇に直接手渡す。
	<p>11月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> 函館五稜郭病院が、永年道南圏域の二次病院として尽力したことに対し、北海道表彰規則に基づく北海道知事表彰として、「北海道社会貢献賞(救急医療功労賞)」を受賞 	<ul style="list-style-type: none"> 医療グループ「徳洲会」の公職選挙法違反事件で、徳田毅衆議院議員の姉ら6人を選捕。 安倍晋三内閣総理大臣、現役総理大臣としては2006年8月15日の泉純一郎以来7年4か月ぶりとなる靖国神社参拝。
	<p>12月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年8月29日、函館市から平成25年度函館市社会福祉施設整備事業の補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成25年12月31日事業完了(ももハウス～ガス乾燥機更新事業 補助金609,000円) 	

年代	事項	国内・函館トピックス
2014年 平成26年	<p>1月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館五稜郭病院長 老松 寛が平成26年2月28日をもって再雇用期間が満了となることから、「病院長の定年退職に関する規則」に基づき雇用更新することとし、継続して函館五稜郭病院長に任命 ・函館五稜郭病院副院長に高金 明典を任命 ・平成25年9月10日、一般社団法人都市ガス振興センターから、平成25年度エネルギー使用合理化事業者支援補助金(民間団体等分)の交付決定通知を受け、事業を実施、平成25年1月31日事業完了(函館五稜郭病院～1号機蒸気ボイラー・3号機温水ボイラー更新及び2号機蒸気ボイラー改造工事一式補助金23,292,993円) ・函館中央病院の洗浄消毒・滅菌器一式を6年割賦(72回)による購入を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県大竹市阿多田島沖の瀬戸内海を航行中の海上自衛隊輸送艦「おおすみ」と釣り船が衝突する事故発生、海に投げ出された釣り船の船長と釣り客の1人が意識不明の重体(おおすみ衝突事故)。
	<p>2月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七飯町立学校給食センター整備計画に係る土地売却について、七飯町と売買契約を締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲家佐村河内守が、交響曲「HIROSHIMA」などの楽曲の作曲を特定の他者に依頼してきたことを公表。さらに同日、桐朋学園大学非常勤講師の新垣隆が、自らがゴーストライターを18年間務めていたことを発表。 ・函館市域全域が「過疎地域」に指定される。
	<p>2月28日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高丘寮の食堂椅子・テーブル更新事業(食堂椅子120脚・4人掛けテーブル30台)の実施を決定 ・函館中央病院の320列CT装置の新規導入を、既存64列CT装置の被爆低減機能の付加、一般撮影装置3台、移動型撮影装置1台の更新ならびに320列CT装置の保守費用(5年)を含める条件とし、6年リースによる実施を決定 	
	<p>3月28日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度本部、施設、公益事業の各会計の収支補正予算を承認 ・平成26年度全会計収支予算ならびに活動方針(事業計画)を承認 ・ななえ新病院長 綿谷 靖彦が平成26年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新することとし、継続してななえ新病院長に任命 ・函館中央病院診療部長 重信 恵一が退任 ・函館中央病院診療部長に 金山 雅弘を任命(平成26年4月1日付) ・ケンゆのかわ施設長 後藤 暉、もも太郎施設長 葛西 善一郎、函館百楽園施設長 澤田信子及びペイアニエス施設長 相馬 正子が平成26年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新することとし、継続して各施設長に任命 ・函館五稜郭病院の移動式X線透視撮影装置、透視撮影用電動手術台、造影剤注入装置一式の更新を決定 ・函館五稜郭病院既存棟のLED照明交換事業について、LED照明器具(5,488箇所)購入事業とLED照明器具交換工事の実施を決定 ・各施設(永楽荘、高丘寮、ケアハウス豊寿、函館百楽園、デイサービスセンター花園、ケンゆのかわ、ペイアニエス、ももハウス、もも太郎)及びななえ新病院の給食業務委託契約について、現委託契約事業者と1年契約により、引き続き契約更新することを決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県柏市あけぼので、23時35分からの約10分間にナイフを使用した4件の通り魔事件発生、被害者のうち首や背中を刺された1名が死亡。死亡した男性と同じマンションに住む24歳の男を、同月5日深夜に盗殺殺人容疑で逮捕(柏市連続通り魔殺傷事件)。 ・近鉄・阿部野橋ターミナルビル(あべのハルカス)が大阪市阿倍野区に完成。地上60階、高さ300mの日本一高いビルとなる。 ・宇宙飛行士の若田光一が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任。 ・フジテレビ系屋の長寿番組『森田一義アワー 笑っていいとも!』が放送終了。1982年の放送開始から31年半の歴史に幕を下ろす。

第XV期（2014年4月～2015年3月）（平成26年度）

年代	事項	国内・函館トピックス
2014年 平成26年	4月1日 ・質の高い看護学生の確保を目的に、現行の貸与型奨学金制度から返還免除付き奨学金制度へ運用を改めることとし、「函館厚生院奨学制度規程」を全部改正	・消費税が5%から8%に増税。 ・北海道警察、札幌連続ボンベ爆発事件の容疑者として、札幌市北区の51歳の無職女を逮捕。
	4月25日 ・函館五稜郭病院の給食業務委託契約について、現委託契約事業者と1年契約により、引き続き契約更新することを決定	
	5月29日 ・平成25年度全会計の収支決算並びに事業報告を承認 ・函館五稜郭病院事務部長 畑 雅孝が平成27年5月31日をもって再雇用期間が満了となることから、継続雇用することとし、引き続き函館五稜郭病院事務部長に任命	・JR北海道江差線（木古内駅～江差駅間）廃止。 ・AKB48握手会傷害事件が発生。
	7月31日 ・函館五稜郭病院診療部長 宮澤 政義が定年により診療部長を退任	
	8月1日 ・函館五稜郭病院診療部長に北村 公一を任命 ・函館五稜郭病院診療部長に池田 健を任命 ・各施設（永楽荘、函館百楽園、デイサービスセンター函館百楽園、看護専門学校、ケンゆのかわ、ももハウス、もも太郎）の医療・介護用品一括購入事業の実施を決定 ・各施設（永楽荘、高丘寮、ケアハウス豊寿、函館百楽園、ケンゆのかわ、花園、ももハウス、もも太郎）の介護保険システム更新ならびにサーバーの入替を5年リースによる実施を決定	
	9月26日 ・ななえ新病院事務部長 坂野 元彦が平成26年9月30日をもって出向期間満了となることから、出向期間を6か月間延長することとし、引き続きななえ新病院事務部長に任命 ・函館五稜郭病院の研修医宿舎を函館市柳町5番25号に新築することに決定 ・ななえ新病院の職員給与規程及び契約職員給与規程の介護福祉士手当、夜勤手当の手当額を改正 ・函館中央病院が従来有給扱いとしていた業務外傷病による休職中の賃金ならびに産前産後休暇期間中の賃金を原則無給に改めることとし、函館中央病院職員就業規則を一部改正 ・函館五稜郭病院院内情報システム端末一式の購入を決定 ・函館中央病院が、多年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた功績顕著な団体として「平成26年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰」を受賞	・御嶽山が7年ぶりに噴火。50人以上が死亡し、1991年に発生した雲仙普賢岳の火砕流による犠牲者数を上回る。
	9月30日 ・函館五稜郭病院診療部長 稲岡 正巳が定年により診療部長を退任	
	10月1日 ・函館五稜郭病院診療部長に小林 慎を任命	
	10月31日 ・平成26年度本部、施設、公益事業の各会計の収支補正予算を承認 ・社会福祉法人新会計基準の導入に伴い、現行経理規則及び経理規程を廃止し、新たに病院、施設全ての事業を適用対象とする法人統一の「函館厚生院経理規程」を制定（平成27年4月1日施行）	・ノーベル物理学賞受賞者に赤崎勇・天野浩・中村修二の3人が決定した。
	11月19日 ・平成26年9月4日、函館市から平成26年度函館市社会福祉施設整備事業の補助金交付決定通知を受け事業を実施、平成26年11月19日事業完了（函館百楽園～食器洗浄機更新事業 補助金712,000円）	
	12月1日 ・平成26年8月12日、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団から、平成26年度公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業「永楽荘 照明器具更新工事事業（既存照明器具LED交換工事）」の交付決定通知を受け事業を実施、平成26年12月1日事業完了（永楽荘～既存照明器具LED交換工事 助成金額1,000,000円）	・小惑星探査機「はやぶさ2」打ち上げ。 ・東京駅開業100周年記念Suicaが同駅で数量限定発売。購入希望者が駅に殺到し場内が混乱したため2時間半で販売を中止。
	12月5日 ・函館五稜郭病院の患者専用駐車場確保のため函館市五稜郭町56番7の用地を購入することに決定 ・各施設（永楽荘、高丘寮、ケアハウス豊寿、函館百楽園、デイサービスセンター花園、ケンゆのかわ、ベイアニエス、ももハウス、もも太郎）及びななえ新病院の給食業務委託契約について、指名6社によるプロポーザル選考の結果、現委託契約事業者と3年契約により、引き続き契約更新することを決定 ・函館中央病院の院内保育事業を平成27年4月1日より業務委託することを決定	

年代	事項	国内・函館トピックス
2015年 平成27年	<p>1月17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケンゆのかわ施設長 後藤 暉から平成26年1月16日付をもって施設長辞任の申し出があったのでこれを受理し、後任に小川 考了をケンゆのかわ囑託契約施設長に任命 	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeに、イスラム過激派組織ISILが日本人の後藤健二および湯川遥菜の殺害を予告、「72時間以内に身代金2億ドルを払わなければ殺害する」と警告する映像が投稿される。
	<p>1月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館中央病院のICU増床、改修工事とICU医療機器整備事業の実施を決定 ・函館五稜郭病院が、長年、道南圏における献血事業の推進に多大な貢献をしたことに対し、北海道表彰規則に基づく北海道知事表彰として「北海道社会貢献賞(献血推進功労者)」を受賞 	
	<p>2月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館五稜郭病院長 老松 寛が平成27年2月28日をもって再雇用期間が満了となることから、「病院長の定年退職に関する規則」に基づき雇用更新することとし、継続して函館五稜郭病院長に任命 ・函館百楽園の入所者用低床ベッド(52台)の購入を決定 ・函館五稜郭病院の手術室映像記録システム一式と麻酔記録システム一式の購入を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・過激派組織ISILが後藤健二を殺害する動画を公開。 ・札幌市中央区のかに本駅前本店で、重さ約25kgの看板の一部が約15メートル下の歩道に落ち、同市の看護助手の女性の頭を直撃、女性は頭の骨を折るなどして意識不明の重体。
	<p>3月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年5月29日付厚生労働省通知「社会福祉法人の認可について」の一部改正により、法人財務諸表ならびに現況報告書を、法人ホームページならびに全国社会福祉法人経営者協議会のホームページ上で公表 	
	<p>3月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度本部、施設、公益事業の各会計の収支補正予算を承認 ・平成27年度全会計収支予算ならびに活動方針(事業計画)を承認 ・渡邊 兼一監事から平成27年3月31日付けをもって監事辞任の申し出がありこれを受理 ・ななえ新病院事務部長 坂野 元彦が平成27年3月31日をもって出向延長期間満了となることから、平成27年4月1日付で出向元である函館五稜郭病院へ復職 ・函館五稜郭病院長兼看護専門学校長 老松 寛の看護専門学校長の任を解き(平成27年3月31日付)、後任に函館中央病院長 橋本 友幸を看護専門学校長に兼務発令(平成27年4月1日付) ・ななえ新病院長 綿谷 靖彦が平成27年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新することとし、継続してななえ新病院長に任命 ・もも太郎施設長 葛西 善一郎、函館百楽園施設長 澤田 信子及びベイアニエス施設長 相馬 正子が平成27年3月31日をもって雇用期間満了となることから、雇用更新することとし、継続して各施設長に任命 ・函館中央病院の患者専用駐車場確保のため函館市本町37番1の用地を購入することに決定 ・旧豊寿荘跡地の函館市石川町147番地1外7筆の土地について、函館市石川中央土地区画整備事業完了に伴い、函館市石川町468-1、468-2、468-3、468-4、函468-29、468-30の地番、地目及び地積が確定 ・函館五稜郭病院中西棟の老朽化に伴う旧中西棟の解体、新中西棟の建築及び一部院内改修による附属建物の滅失を含む基本財産面積変更を承認 ・函館厚生院育英基金規則を廃止し、新たに、育英基金からくるみ学園児童に対し、奨学金を支給する根拠、奨学金の支給対象、金額及び支給方法を定めた「社会福祉法人函館厚生院育英基金運営規程」を制定(平成27年4月1日施行) ・函館五稜郭病院CT室設置の64列CT装置を救急外来へ移設、既存320列CT装置をより精度の高い診断を可能とするためのバージョンアップの実施ならびに80列CT装置の新規導入他一式の購入を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道教育委員会、ハワイ州・カウアイ島沖の太平洋で実習航海中だった北海道函館水産高等学校の実習船「北鳳丸」から、日本時間2月17日に確認されたのを最後に行方不明になり、アメリカ合衆国沿岸警備隊が同月21日に捜索を終えた後も北鳳丸や他の実習船が自主捜索を続けていた男子生徒の捜索を、未発見のまま終了したことを発表。 ・「トワイライトエクスプレス」、1989年7月以降の運行を終了。 ・函館新外環状道路函館IC/JCT-赤川IC間が開通。